

# カットウエル(株) 情報通信 第7号

平成26年 3月



いつもお世話になっております。

桜の花が待ち遠しい毎日ですが、みなさんはいかがお過ごしでしょうか？

寒さもあと一息です！元気な春を迎えましょう♪

さて今回は、情報通信 第4号から続いております“熱処理”の中の『析出硬化』についてご説明します！

『析出硬化』とは……

鋼の中に溶け込んだ炭化物を析出させ、硬度を上げる処理のことです。析出硬化処理を行う前に、まず“固溶化熱処理”という処理が必要です。この処理は、耐腐食性の向上と鉄鋼に合金(金属を2種類以上混ぜた物)成分を固体に溶け込ませるために、鋼を1000~1200℃程度に加熱後急冷し、過飽和固溶体を得る処理です。

固溶化熱処理後、480~500℃に加熱して放冷します。すると、金属間化合物(2種類以上の金属元素から構成される化合物)という組織の析出により、お客様のご要望の硬度が得られます。これが『析出硬化』です。

特徴として、焼入れする鋼と比較すると低温の熱処理で高硬度化するので焼入れでのリスク(焼割れや歪み etc.)が少ないんです！

※ 一般的に『焼入れ』する鋼と『析出硬化』する鋼は材質が異なります。弊社では主に『SUS630』を処理しております。



← 『析出硬化処理』をする時に使う真空炉です。

『焼きなまし』する時にもこの真空炉を使います。

“熱処理”について情報紙 4号からご説明してまいりましたが、少しはご理解いただけましたでしょうか？

弊社では基本、午前11時までにお預かりした品物は、翌日午後1時頃までに、午後5時30分までにお預かりした品物は、翌日午後4時頃までに仕上げお渡し出来るようにしております。

その他、気になる点は是非お電話にてお問い合わせください！

〒959-0214 新潟県燕市吉田法花堂1974番地1

カットウエル株式会社 総務部

TEL 0256-92-3121 FAX 0256-92-3120

HPアドレス <http://www.yoshikawa-group.co.jp/cutwell/>